

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
井原市井原町昌弘
会長/梶谷弘

《編集》 倉掛自治連合会
倉掛婦人會
倉掛少年團
倉掛少年育成會
消防井原分団第5

2年連続世界の「銀」

格闘技
サ
ン
ボ

世界選手権で倉掛の藤井恵さん

NHKサンデースポーツ 快挙の放送は二十八日夜

柔道とレスリングを合わせた様な格闘技で、ロシアやヨーロッパを中心に広まった世界的スポーツ、サンボの99世界選手権はスペインが舞台。



写真=12月5日号No23「non・no」
(ノンノ) 147ページ掲載の広告写真

大会は十一月十二、十三、十四日にスペインの工業都市ヒホンで開催、日本代表として出場した倉掛八組の藤井接骨院・藤井邦昭院長の長女恵さん(二五歳)が、昨年に続いて女子52kg級で銀メダルに輝いた。

悔しい悔しい 判定負け……

恵さんは一回戦から順調に勝ち上がり、迎えた決勝戦の相手はウクライナのタ

ーナ選手。激闘の末、ポイントでは両者1対1と互角。関係者が固唾を呑んで見守った判定は無念にも相手方の勝利を告げ、この瞬間、目標だった「金」の夢は消えた。しかし、世界の強豪がひしめく階級にあって、堂々たる2年連続銀メダル獲得である。

選手団の帰国を待ち構えていたのは、恵さんを大会前から密着取材していたNHK。来る今月二十八日午

人気はタレント以上

恵さんは井原中学・夙川学院高校・国土館大学と、一貫して有力柔道選手として活躍。サンボは社会人になってから始めたが、恵まれた素質と持ち前の根性で頭角を現し、2年連続全日本チャンピオンに輝いた。昨年初出場した世界選手権で第2位となって以来、国際的美人格闘家として各

後九時五〇分からの総合テレビ番組、サンデースポーツで大きく取り上げ、快挙を全国へ伝える予定。「めぐちゃん銀!」の吉報は既に地域へ広がり、倉掛の自宅へはお祝いの言葉が次々と寄せられている。

郷社南道路拡張へ

樹木の伐採移植完了・玉垣は復元

郷社南側の市道拡幅に伴う付帯工事が始まった。道路付近にあった

樹木の移植や伐採は既に終え、続いて石碑等を移動させる。道路幅4mとなる拡幅工事は近々着工、来春の郷社祭の頃に完成予定。

現在取り除かれていた全長約100mの玉垣は、道路工事後に後に復元される。



なお、市の買い上げによる郷社側の収入千三百万円万円となった。

マスコミが注目。今年は総合スポーツメーカー・ウイソンのイメージモデルに抜擢された。スポーツ雑誌や女性雑誌などで頻繁に見かける「Megumi・F」



火の用心!

倉掛少年団が防火を呼びかけ

このほど倉掛少年団と同育成会が、地区内の人達に防火意識を高めてもらおうと、三日間の夜警活動を行った。

出発式は十一月九日午後七時より郷社で行われ、来賓の井原小学校吉田教頭や消防関係者、自治連合会、婦人会役員らが「ご苦労さま。頑張ってください」と激励した。このあと団員らは拍子木を打ちながら「さんまを焼いても家焼くな」「今捨てたタバコの温度が七百度」などと、自前の標語で火災予防を呼びかけた。

のグラビアもその名を押し上げ、東京の芸能事務所勤務の恵さんは今や、若手タレントさえ羨むほどのモチモチぶりだ。故郷から今後の活躍を祈りたい。

り、防火費予算二十五万円で20mホース十本を購入、十二組一組へは器具箱1セットを新たに設置した。あと三年のうちには総てが交換される見通し。

消毒液使用は大幅減少

田中利治衛生部長の調査によると公共下水道整備以後、六月中旬から八月下旬の一定期間、消毒液を二週間毎に常時配付した自治会は地区内二十五組中、僅かに四組と、消毒液使用の世帯が減少している。

防火費予算で ホース十本

倉掛自治会会計

十二月十一日の自治会総会で審議される決算内容がほぼ明らかになった。今年地区内消火栓ホース全面交換の二年目にあ

一般自治会費は均一化へ
法人自治会費は名称変更
今年一月の予算総会で決定された内容に沿い、来年から一般自治会費に限り各戸均一化され、従来の法人自治会費は名称が事業所自治会費と改められる。

爽やかな秋祭り

倉掛少年団が子供みこし



倉掛を元気よく練り歩く団員たち

十月二十四日、井原町秋祭りが今年も爽やかな秋晴れの下で賑わった。倉掛少年団育成会は事前に子供みこしの準備を終え

当日の朝、郷社へ集合した。今年もみこしは例年どおり男女で計二つ。午前九時、郷社拝殿前で大山宮司によるお祓いを済

ませた後、いよいよ出発。「わっしょい、わっしょい」と元気よく練り歩く子供みこしの一行を、住民らも家々から出て温かく迎えた。団員の松井大記君(五年)

は「みこしを力一杯持ち上げて皆で頑張りました」。また育成会の細羽正敏会長は「皆様方には大変お世話になりました」と、地域の厚意に感謝していた。

井原地区が優勝

倉掛の選手らも奮闘

市民体育祭

十月に行われた今年の井原市民体育祭で、井原地区が昨年度1位の出部地区をかわして優勝を飾った。倉掛から出場した少年部リレーの渡辺孝通君やゲート通しリレーの竹永節子さんら九人も各種目で活躍、



優勝の原動力となった。倉掛自治連合会の片山守

郷社の巨木を枝打ち

「落ち葉の悩み」ほぼ解消



民家の屋根に迫り出していた枝も切られた郷社境内の巨木

郷社境内に数多くある樹木の本格的な枝打ちが初めて行われた。

近年、樹木の落ち葉が本殿や社務所の屋根を傷める原因となり、また、隣接家屋の屋根に落ちた葉は雨樋を詰まらせるなど、住民の悩みの種だった。

しかし、これらの取り除きは困難をきわめ、特にお年寄りの家庭にとっては「どうにもならん」と、半

ば諦め状態が続いていた。郷社役員で協議の結果、「対応策が必要」と判断され、植樹以来百数十年ぶりの枝打ちとなったもの。

長年境内の近くに住んでいる人達は「本当に大助かりです。日当たりも随分良くなりました」と、喜びの表情で語っている。

郷社の大久保格総代は、「ご迷惑をお掛け致しておりますが、引き続き宜しくお願いします」と述べ、地元住民に対し、目前に迫った社殿修復工事へも理解と支援を求めている。

体育部長は「練習の段階から頑張って頂き有り難うございました」と、健闘を讃えている。(写真左上)ボールけりリレーに出場した倉掛八組の渡辺照子さん)

ソフトは準優勝

地区対抗球技大会

十一月七日、井原小学校で井原公民館主催の地区対抗球技大会が開かれた。

倉掛男子ソフトボールチーム(田中利治監督)は、一回戦で中町、二回戦で猪清を下し決勝へ進出、向町に敗れこそしたが準優勝に輝いた。

一方、倉掛女子バレーボールチーム(若林節子主将)は、夏目との初戦で白星を上げたが、続く二回戦で中町に惜敗した。

倉掛ほっと情報

- 10月は倉掛地区だけで6人もの方が亡くなりました。「こんな事は過去にも無い」と寂しげな地区民の声。ご冥福をお祈り致します。
- 倉掛16組の川田剛さん(26歳)が本年度の司法試験に合格した。岡山県下では5人。来年4月より1年半、司法修習生としての研修を受けた後、法律関係の職に就く予定。
- 倉掛自治連合会の年度は現在1月1日から12月31日まで。井原町内の各地区では倉掛と夏目を除き、既に4月1日から3月31日までを1年度としており、倉掛も同様に近い将来変更する見通し。
- 倉掛公民館建設に関する井戸端会議の語録。「郷社の中しか場所が無いで」「倉掛公園の中はおえんの?」「市や県の補助は?」果ては「年末ジャンボ宝くじに賭けるか」etc.

行事予定

- 11/28 井原小学校学芸会
- 12/5 第5部消防団試運転日
- 12/5 倉掛少年団クリスマス会
午後1時~市民会館
- 12/11 資源の日・古紙回収
- 12/11 倉掛自治会決算総会
午後7時~第5部消防機庫
- 12/12 全国健康マラソン井原大会
- 12/18 自治連合会防犯パトロール
- 12/24 井原小学校2学期終業式
- 12/26 全国高校駅伝競走大会(京都)
興譲館女子チーム出場
- 12/28 官庁御用納め
- 12/28~29 第5部消防団年末夜警活動
- 1/1 元旦初詣・郷社新年祈願祭
(新年祈願祭は3日まで)

介護教室で勉強

井原地区社会福祉協議会が主催

倉掛からは9人受講

十一月二十一日、井原地区社会福祉協議会(椋本安夫会長)主催の介護教室が井原公民館で開かれ、約六十人が受講した。講習は家庭介護の実技などを中心に行われ、きのこ荘の田中美鈴さんと、西部いこいの里の笠原宏美さんが約二時間、基本介護の指導に当たった。受講した倉掛地区十八・三組の小笠タキ子さんは「介護は自分の事として知っておくべきです。良い機会に恵まれ大変勉強になりました」と、介護教室の企画を高く評価していた。



熱心に介護の実技を学ぶ受講生ら